



## 3月の園だより

学校法人 志賀学園  
認定こども園  
平第一幼稚園  
令和5年2月28日

暖かく柔らかい日差しが差し込むようになり、ガーデニングクラブのお母様が植えてくださったチューリップの芽が顔を出し、春の訪れが近いように思われます。春になると地中で冬ごもりをしていた虫が、春の到来を感じ草木が芽吹くと同時に地上へ這い出します。この時期を啓蟄と言います。これからの時期は三寒四温の言葉の如く、一雨降るごとに気温が上がっていき、春に近づき日差しも除々に暖かくなっていきます。戸外で遊ぶ子どもたちは、海賊船やジャングルジム、鉄棒や縄跳び、平均台などをして園庭を走り回って体を存分に動かすことを楽しんでいきます。

3月3日は、「ひな祭り」です。ひな祭りは女の子の成長を祝う行事で、桃の花の咲く頃に行われるので「桃の節句」とも言われています。お内裏様・お雛様・三人官女・五人囃子など人形や物の名前を知ることによって日本の伝統行事に親しむことが出来ます。こども園では、3月3日にひなまつり会を行い、ひなあられを持ち帰りますので、ご家庭でお召しあがりください。

また、3月21日は「春分の日」です。子ども達には、「春分の日とは、昼と夜の長さが同じ、(実際には昼の方が少し長いというのが現代の認識)日、この日にはご先祖様のお墓参りをしましょう」と話したいと思います。お近くに先祖様のお墓のあるご家庭は、お掃除をして、お供え物をするということを教えてあげると、体験として覚え、先祖を大切にすることを育んでくれると思います。このような体験を通し、日本の春の行事を子どもに伝えていきましょう。

2月18日(土)のドリームコンサートでは新型コロナウイルス感染防止対策の為、人数制限・検温・消毒・マスク着用などのご協力を頂きましてありがとうございました。

ばら組の子どもたちは、メロディオン、鈴、タンバリン、カスタネット、大太鼓、小太鼓等、いろいろな楽器を合わせて上手に演奏できました。すみれ組の子どもたちは、長い歌詞を覚えて歌ったり、メロディオンも一人ひとりの指がきちんと動き、上手に演奏することができました。さくら組の子どもたちは、アルト、ソプラノに分かれ、素敵なメロディオン奏を聴かせてくれました。また、合唱は歌詞を聴いていると思わずほろりとしてしまうほど心がこもっていました。そして合奏「ボギー大佐」では、一人ひとりが自分のパートをしっかりと覚え、とても感動する演奏だったと思います。これらの経験が、今後の子どもたちの自信につながっていくものと思います。ちゅうりっぷ・たんぼぼ・もも組の子どもたちは、大きい組さんの演奏を見学し、「太鼓やりたいな」など、憧れを持つ姿が見られました。また、お部屋では、鈴、カスタネットなど、いろいろな楽器に触れながら楽器あそびを楽しみました。今年度もコロナ禍でいろいろな制限があった中、保護者の皆様には温かいご理解とご協力いただき、保育を進めることが出来ました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

吉竹 芳江